

まつら



NO.89

令和2年6月

唐津農林事務所
東松浦農業改良普及センター
TEL(0955)73-1121
FAX(0955)74-7975

上場振興担当
TEL(0955)82-2711
FAX(0955)82-1911

人と自然と文化の交響楽・佐賀
 佐賀県

<http://www.pref.saga.lg.jp/list00102.html>



寺田 秀和さん (23歳)

★経営概況★
ハウスみかん 70a

令和新時代を担うハウスみかん農家!

玄海町の寺田秀和さんを紹介します。

玄海町でハウスみかんを栽培されている寺田秀和さんは、平成29年に県立農業大学校を卒業と同時に就農されました。現在、父、祖母、叔母と秀和さんの4人でハウスみかんを栽培され、5年目を迎えています。小さい頃から祖母に連れられて栽培の手伝いをしてきた秀和さん。大人になったら農業をするのが当たり前と、ためらうことなく就農されました。

当面の目標は、みかんの生産技術を習得すること。父や身近な存在であるみかん青年部の先輩方から学び、我が家の経営にいち早く役立てたいと考えています。

現在は、摘蕾、摘果、枝つり等を教えてもらいながら日々頑張っています。今後は、高品質化に向けた温度管理や、安定生産を図るためのせん定についても勉強したいと思っています。

将来は、新しい取り組みにチャレンジして、収益を向上させたいとの夢を描いています。現在は園地が点在しており、移動に時間がかかることから、園地を集約することで作業効率を向上させたいと考えています。また、ICTを導入して、客観的データに基づいた栽培管理を行い、収量アップを目指したいと意気込んでいます。

就農と同時に上場地区農村青年クラブ（一心会）にも入会し、昨年度は会長としてクラブをまとめてこられました。クラブには、同世代のいちごや繁殖牛農家の後継者が所属しています。他品目のクラブ員と交流することで新たな視点を取り入れ、みかん栽培に役立てたいと、意欲的に活動に参加しています。現在、人数が少ないので、もっと仲間を増やし、クラブ員で団結して盛り上げていきたいと張り切っています。

上場地区の将来を担う農業者として、今後の活躍が期待されます。

「園芸生産へのチャレンジ」で、 唐津・東松浦地域の 農業・農村を更に元気に

センター長 桑原 宏司

皆さん、はじめまして。4月から普及センターに参りました桑原です。どうぞよろしくお願ひします。

さて、普及センターでは、本年も普及活動計画に沿って、「農業所得アップ」「次代を担う新規就農者の育成」「中山間地域の農業・農村の活性化」といった重点プロジェクトや、水田農業、果樹、野菜、花き、畜産等の様々な課題解決に取り組んでいくこととしています。

わたしは、唐津・東松浦地域の農業や農村を更に元気にしていくためには、農業所得アップが期待できる園芸生産への取組に力を入れていく必要があると考えています。

このため、県が令和元年度から、市町やJA等と一緒に展開している「さが園芸生産888億円推進運動」では、唐津支部として「県育成の新品種」「いちごさん」や「佐賀果試35号」の面積拡大、「規模拡大」や単収向上、「新規作付の推進」等に向けて積極的に取り組んでいくこととしています。（詳細は3ページ）

我が国が人口減少社会にある中で、唐津・東松浦地域でも残念ながら園芸農家戸数は減少傾向です。一方で、全国的にも出荷量が減少したため需給バランスが取れてきて、十年前に比べて単価が安定・上昇している果樹や野菜等の品目も少なくありません。農業者や関係者の皆さんには、こうしたピンチをチャンスと捉えて、前向きに園芸生産へのチャレンジをお願いします。

さが園芸生産888億円推進運動

「さが園芸生産888億円推進運動」の概要

野菜や果樹、花きなどでの先進的経営への取組や、新規園芸農家の育成等の取組を促進して、県全体の園芸部門の産出額を、2028年までに888億円（2017年629億円）に伸ばすことを目指しています（2019年度〜2028年度の10年間）。

さが園芸888運動 唐津支部の取組

(1) JA部会等が策定した「888計画」への支援

イチゴやハウスみかんなどのJAの生産者部会等では、自らの現状や課題を踏まえ、10年後の販売額の目標と、目標達成に向けた具体的な取組を記載した「888計画」を策定されました。【令和2年3月時点で、37計画が策定済み（JAからつ生産者部会30計画、法人・個人等7計画）】

運動の唐津支部（唐津農林事務所、東松浦農業改良普及センター、

唐津市、玄海町、JAからつ等で構成）では、この「888計画」の目標達成に向けて、生産者部会等が行う栽培技術向上等の取組に対して支援を行っています。

また、支援事業である「さが園芸生産888億円推進事業」では、ハウスや省力化機械等のハード整備や、露地野菜の新規導入等に向けたソフト事業に対して補助を行っています。

(2) 唐津支部の「チャレンジプログラム」の策定と実践

前の「888計画」の内容を踏まえて、関係機関で協議し、唐津支部として特に重点的に取り組む事項である「チャレンジプログラム」を策定しました（表1）。

現在、唐津支部では、プログラムの目標達成に向けて、関係者が連携しながら研修会の開催や、新技術・新品种の展示園設置等の取組を進めています。

（さが園芸888運動） を展開しています



写真2. 中晩柑品種「佐賀果試35号」の栽培研修会の開催



さが園芸888運動
チャレンジ！元気あふれるさが園芸へ



写真1. いちご新品種「いちごさん」

○表1. 唐津支部のチャレンジプログラム

対象	主な目標	主な方法
イチゴ	・いちごさんへの転換 ・病虫害被害の抑制等による単収向上	・立枯症対策の徹底 ・天敵利用によるハダニ防除
こねぎ	・選別調整作業の省力化による規模拡大	・集出荷調整施設の整備検討
アスパラガス	・新規就農者確保 ・単収向上	・トレーナー制度の活用 ・土壌改善や施肥技術の改善
中晩柑品種「佐賀果試35号」	・作付面積の拡大（無加温ハウス） ・出荷時期等に応じた栽培技術の普及	・展示園の設置と、出荷時期等に応じた技術研修会の開催
露地野菜・花き	・収益性の高い露地野菜や花きの作付拡大	・地域や労働力に応じた推進品目の選定等
新規就農者確保	・ワンストップ就農支援体制の整備	・検討会の開催や先進事例調査

令和2年度 東松浦農業改良普及センター 職員紹介

上場振興担当		センター長 桑原宏司		副センター長 大串和義	
副センター長 牧山繁生	果樹 主幹 山口正洋	水田農業 技師 牧野宏美	経営 係長 大坪英輝	経営 主査 後藤有華	水田農業 係長 吉野拓郎
水田農業 主査 浦田貴子(野菜)	野菜・花き 係長 陣内宏亮	野菜・花き 技師 鍋山侑大	水田農業 技師 宮崎訓里	野菜・花き 係長 木下 武	野菜・花き 副主査 江原愛美
野菜・花き 技師 山崎勇介	畜産 主査 細國一忠	畜産 技師 古賀雅貴	野菜・花き 技師 田中理沙	野菜・花き 技師 下古場稜一	果樹 係長 池田繁成
果樹 技師 藤田将平					

〈組織改編〉

- ・作物特技と野菜・花き特技の連携強化を図るため「水田農業・畜産担当」を設置
- ・野菜特技と花き特技の一本化を図るため「野菜・花き担当」を設置



管内トピックス



イノシシ被害対策現地研修会

集落ぐるみの対策で 鳥獣被害減少へ

唐津市佐志地区では、平成30年度より農事組合法人佐志を中心とした鳥獣被害対策に取り組んでいます。令和元年度は、集落の巡回調査により収集したデータをもとにイノシシの生息マップを作成し、電気柵の設置等の対策を行いました。その結果、イノシシの水田への侵入はなくなりました。今後も普及センターでは農村環境の改善に向けて、電気柵の適切な管理や畦畔管理作業の省力化等の支援を行っています。



御田植式の様子

浜野浦の棚田で 御田植式が開催

棚田百選の一つ玄海町の浜野浦で、宮中の恒例行事「新嘗祭（にいなめさい）」に献上される米の御田植式が4月19日に行われました。今回、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、規模を縮小し、玄海町良質米生産対策協議会の委員7人が参列して、豊かな実りを祈願しました。その後、浜野浦住民や町職員ら約20人で「コシヒカリ」を手植えしました。8月の抜穂式（ぬきほしき）まで、倒伏や病害虫に注意しながら栽培していただき、1967年以来53年ぶりに玄海町から献上されます。



「佐賀牛」になるには子牛の育成が重要

子牛を育てる技術を 高める活動をスタート！

当地域は県内最大の繁殖牛を飼養している大産地となっていますが、農家の高齢化による離農が懸念されているため、繁殖基盤を強化する必要があります。普及センターでは今年度から、若い繁殖農家を対象に子牛を育てる技術を高めて、肥育農家に喜ばれる肥育素牛を生産する活動をスタートしました。当地域で生まれ育った「佐賀牛」が1頭でも多く生産されるよう、関係機関一体となって取り組んでいきます。